

使用前の注意事項

■家具設置上の注意

- ・据付けに際しては、家具は水平を保つように床面の調節をして下さい。がたつきがあるまま使用していると家具の強度が落ち家具が壊れたりケガをする等の原因になります。
- ・冷暖房器具の吹き出し風が当る場所、直射日光が当る場所等は避けてください。木部の反り、ヒビ割れ変形、変色の原因になります。
- ・家具を移動する際は床面を引きずらないで必ず大人2人以上で持ち上げてください。床面をキズ付けたりケガをする原因になります。

■使用上の注意

- ・商品の上に昇る・ぶら下がる・無理な力で引張る等、強い力を加えたり衝撃を加えたりしないで下さい。
- ・使用目的以外の使い方をすると転倒し、怪我や破損する事があります。
- ・家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしないで下さい。倒れてケガをする事があります。
- ・取付け及び組立ては、確実に行って下さい。折りたたみ式の家具等、中途半端な組立ては商品の破損によりケガをする事があります。
- ・家具を移動する時は、落したり、ケガをする事がないように手でしっかり持って運んで下さい。
- ・家具の上に加熱した鍋、ヤカン等を直接置かないで下さい。焦げや変色の原因になる事があります。
- ・布及び合皮張り製品は屋外での使用はできません。屋外使用できるものもごございますが、雨天の時はクッション部分を取り外し屋内で保管して下さい。
- ・木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で肌の弱い人はアレルギー一症状をおこす事がありますので、換気を充分にして取り除くようにして下さい。

■清掃・メンテナンスの注意

- ・取付金物等のネジ類のあるものはネジ類が緩んでいないか時々点検し緩み始めたらしっかりと締め直して下さい。緩んだまま使用すると家具が壊れて、ケガをする原因となります。また、家具の移動をした時も点検し緩んでいたら締め直して下さい。
- ・虫害を発見した場合は、スプレー等でただちに殺虫や防虫処理をして下さい。他から虫が入る事もありますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
- ・清掃時にテーブル上に椅子をあげる行為はおやめ下さい。落下の危険性が高く椅子の破損やぐらつきの原因になります。ぐらついたり破損した椅子をそのまま使用するとお客様の怪我の原因になりますので使用をやめて下さい。
- ・スタッキングのできる家具以外での積み重ねはしないで下さい。破損や大きな怪我の原因となります。

■組み立て商品の注意

- ・納品時に手工具で組み立てた部分は、使用によって緩みが生じる場合がございます。1年に1回程度緩みがないか点検してください。
- ・異音や緩みなどを感じたらネジ類が緩んでないか点検し、締めなおしてください。改善されない場合は、そのまま使用せず、販売店までご相談ください。

■保存の注意

- ・保管前に必ず、ホコリや汚れを取り除き、風通しのよい日陰でよく乾燥させてください。
- ・ファブリックのカバー製品は取り外してからドライクリーニングにかけて保管してください。風通しがよく、直射日光が当たらない場所に保管してください。ホコリが付きやすい場所の場合、通気性のよい柔らかい布で、風が通るようになんて掛けてください。

安全上の注意事項

■警告

- ・乳幼児を寝かせないでください。床への落下や窒息の原因になります。

- ・組み立てが不完全の状態のままで使用しないでください。転倒によるケガの原因になります。
- ・座面以外に座らないでください。
- ・座面や肘掛の上に立ったり、跳ねたりしないでください。
- ・製品にぶら下がらないでください。
- ・チェアの脚を浮かせて座らないでください。
- ・ストーブなど、引火する恐れがあるものの近くに置かないでください。火災の原因になります。
- ・不安定な状態や場所で使用しないでください。転倒によるケガの原因になります。
- ・製品の脚やキャスターなどで電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- ・天板の上に座ったり、立ったりしないでください。
- ・天板にぶら下がったり、過度にもたれたりしないでください。天板に照明や乳幼児用簡易椅子など取り付けしないでください。
- ・ガラス製天板はぶつかったり、物を落としたり際にケガをしたり破損することがあります。お取扱の際は十分に注意してください。
- ・キャビネットの扉や引き出しの開閉時に本体の内側に手を挟まないでください。手や指のケガの原因になります。
- ・プラグやコンセントに濡れた手で触るなど水気の多い場所では使用しないでください。
- ・電球を交換するときは必ずコンセントを抜いてから作業してください。
- ・ベットやマットの上で飛び跳ねたり立ったりしないでください。

■注意

- ・製品の周辺、または上部に危険物を置かないでください。ケガの原因になります。
- ・ソファやチェアに座ったまま移動したりしないでください。
- ・稼働部分のあるソファ、キャスター付チェアなど、形状が変化する商品は周囲に配慮してご使用ください。
- ・ぶつけて物を壊したり、指や手を挟んだりする原因になります。
- ・製品の機能以外の目的で使用しないでください。
- ・扉や引き出しを稼働する場合は十分に注意してください。収納物や製品が破損する恐れがございます。
- ・キャビネットの扉や引き出しを開けたまま使用しないでください。接触によるケガや破損の原因になります。
- ・同時に複数の扉、引き出しを開けて使用しないでください。
- ・扉や引き出しを開閉する場合は予め、動く範囲を確かめてください。

素材、商品についての注意事項

■ラタン・アバカ・ウオーターヒヤシンス製品の特記事項

- 注意事項
 - ・直射日光のあたる場所は避けてください。変色や、乾燥して割れ、がたつきの原因になります。
 - ・長時間湿気の多い場所は避けてください。また屋外では使用しないでください。カビがはえたり編み部分のたるみの原因になります。
 - ・籐製品は長期間使用すると、皮籐（ピール）がゆるんだり、切れたりすることがあります。
- メンテナンス
 - ・切り口は鋭くがって固く、不用意に触るとケガをする恐れがありますので、ご注意ください。
 - ・丹念にしっかりと編みこんで製作されたものですが、日常ご使用されている中で強い衝撃等が加わるにより、多少表面がほつれたりすることがあります。
- メンテナンス
 - ・網目はホコリが溜まりやすいのでの月に一回ほど柔らかいブラシや掃除機で取り除いてください。
 - ・汚れのひどい時は、中性洗剤を薄め、柔らかい布を浸しよく絞って拭き取ってください。そのあと、柔らかい乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。

■PE（ポリエチレン）製品についての特記事項

- 注意事項
 - ・商品の劣化を防ぐために出来るだけ乾燥している環境に設置して頂き、適度な換気をお勧め致します。
 - ・ポリエチレンは丹念にしっかりと編みこんで製作されたものですが、日常ご使用されている中で強い衝撃等が加わるにより、多少表面がほつれたりすることがあります。
- メンテナンス
 - ・硬く絞った濡れタオルで表面を拭き掃除し、次に乾拭きして下さい。最後に自然乾燥をさせて下さい。
 - ・水拭きでどうしても落ちない汚れを落とす場合には、中性洗剤を薄めてご使用下さい。商品によっては多少の色落ちをする事がありますので目立たない部分で一度お試し頂き少量ずつご使用下さい柔らかいナイロンブラシ、もしくは電気掃除機（ブラシ付）を優しくご使用頂きほこり等を取り除いて下さい。

■石材製品について特記事項

- 注意事項
 - ・テーブルなどのに食器類を直接置くと、表面が擦れキズがつく場合があります。できるだけランチョンマットやコースターのご使用をお勧めします。
- メンテナンス
 - ・普段は硬く絞った柔らかい布で拭いてください。
 - ・こびりついた汚れは、水に薄めた中性洗剤に布を浸し拭いてください。最後に乾燥した布で、洗剤が残らないように柔らかい布でよく拭き取ってください。
 - ・飲み物をこぼした場合は、放置するとシミになりやすいので、乾いた布ですばやく表面の水分を吸い取ってください。

■金属の特筆事項

- 注意事項
 - ・メッキ仕上げ、アルマイト仕上げ等の酸化を防ぐコーティングがされている金属は深い傷がついてしまうとサビや表面剥離が発生する場合がありますので、運ぶ際や使用するときは乱暴に扱わないでください。
- メンテナンス
 - ・毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
 - ・汚れのひどい時は、中性洗剤を薄め、柔らかい布を浸しよく絞って拭き取ってください。そのあと水で浸した布で洗剤液をよく拭き取り、柔らかい乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。
 - 最後に潤滑油を薄く塗り、柔らかい布で拭き取ってください。

■ガラス製品についての特記事項

- 注意事項
 - ・ガラス製品を運ぶ際は、ガラスと本体が分離できる場合は必ず、切り離して運んでください。
 - ・移動の際は、必ず大人2人以上でガラスと本体を別々に運んでください。一緒に運ぶことで、運んでる最中に傾いたりしたときにガラスが落下し、ケガをする原因になります。
 - ・重量のある物を載せる際は、予め設置面を大きくする工夫を行ってください。局部に強い衝撃を与えたり、重い物を載せないようにしてください。
 - ・また、荷重以下の体重の方でも、絶対に人は天板には乗らないで下さい。勢いよく物を置くと、ガラスに急激な荷重がかかると、ガラス天板が跳ね上がる可能性がありますので、お止め下さい。
- 耐荷重について
 - ・ガラス天板の耐荷重につきましては、その荷重条件（荷重面積・荷重速度・使用期間等）により異なり耐荷重として表記することは差し控えております。製品取り扱いの際の目安として「製品別荷重目安」をご参照下さい。「製品別荷重目安」ガラス厚/6mm厚 耐荷重/約5kg
 - ※目安となる重量は納入商品にて実験したものではなく、荷重による製品の強度を保障するものではありません。
- 清掃・メンテナンスの注意
 - ・軽い汚れは硬く絞った濡れタオルに市販のガラスクリーナーを付けて拭き、汚れを落とし、その後空拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を付けたスポンジで汚れを落とし水で流し、その後空拭きしてください。

■無塗装の木材、古材の特記事項

□注意事項

- ・天然の木材、古材は色合い風合いが物によって多少異なります。
- ・木材は乾燥や湿気の変化に敏感です。エアコンやストーブ、直射日光が直接あたる場所では表面が反ったり割れたりすることがあります。
- ・虫害を発見した場合は、スプレー等でただちに殺虫や防虫処理をして下さい。他から虫が入る事もありますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

□日常の清掃・メンテナンス

- ・大量の水を含んだ雑巾を使用しないでください。木が水分を吸収してしまい、表面の毛羽立ちや白濁、あばれの原因になります。

水拭きをする場合は、しっかりと絞った雑巾で拭くようにご注意ください。

■チーク製品の特記事項

□注意事項

- ・雨や日光にさらされると表面の油分が抜けざらつき色もシルバークレーになってきますが内部には十分な油分を含んでおりますのでそのままの状態でも永くご使用頂けます。
- ・チークは油分を多く含んでいる為、黒ずみや色むらがありますが、品質上は問題ありません。
- ・無垢材の特性上、使用環境化によっては多少伸縮したり反る事があります。また自然な色落ち、屋外の塵や埃により衣服等を汚してしまう恐れがございますので、ご使用前に家具をお拭きする事をお勧め致します。室内でご使用の際、壁に付けて置かれますと壁紙などに色移りする場合があります。

□メンテナンス

- ・日常のお手入れとして、水に浸して固く絞った雑巾で表面についた汚れや埃を拭き取ってください。汚れの沈着を防ぎ、家具をきれいに保つことが出来ます。

■革製品の特筆事項

□注意事項

- ・革には成長段階や加工の工程上、傷やシワ、色の濃淡の違いなどが現れる場合があります。
- ・紫外線やスポットライトが長期間あたると変色する場合があります。
- ・革は乾燥に非常に敏感です。乾燥しますと、革の割れ、継ぎ目の切れを引き起こしますのでエアコンやストーブの前など極端に乾燥する場所を避けてください。
- ・化学ぞうきん、塩化ビニルなど化学繊維を長い間、接触させたままにしておくと変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。
- ・水牛革の表面には、革のツヤ出しと保護の為に予め薄い塗装が施されています。レザークリームやレザークリーナーを使用すると、若干色落ちする場合がありますので、ご注意ください。
- ・市販のレザークリーナーなどを使用の際は目立たない箇所を試してからご利用ください。

□メンテナンス

- ・ホコリは柔らかい布、又はハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリのあるままでこするとこまかな傷が付いて逆効果になります。
- ・汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤液を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤液をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後自然乾燥させてください。
- ・編込みの革製品は網目にはホコリが溜まりやすいので月に1回ほど柔らかいブラシや掃除機で取り除いてください。

■合成皮革の特記事項

□注意事項

- ・合成皮革は熱に弱いので、火に近い所での使用は避けてください。
- ・紫外線やスポットライトが長期間あたると変色する場合があります。
- ・化学ぞうきん塩化ビニルなど化学繊維を長い間、接触させたままにしておくと変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。

□メンテナンス

- ・ホコリは柔らかい布又はハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリのあるままでこすると、こまかな傷が付いてかえって逆効果です。柔らかい布のカラー拭きだけで十分です。
- ・汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤液を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤液をよく拭き取ってください。
- ・次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

■ファブリック製品の特記事項

□注意事項

- ・直射日光やスポットライトが長期間あたると変色する場合があります。

□メンテナンス

- ・普段の手入れは、柔らかいブラシや掃除機などを使いホコリを取り除いてください。飲み物をこぼした場合の液体汚れは中性洗剤を薄め、柔らかい布を浸し、よく絞ってたくようにして拭き取ってください。次に硬く絞った布で残った洗剤をよく拭き取ってください。その際汚れた部分だけでなく、周囲もまんべんなく拭いてください。その後、風通しの良い日陰で乾かしてください。

■ハンドメイド製品の特記事項

□注意事項

- ・職人による手作りの為、それぞれ仕上がりが異なります。サイズに若干の誤差が生じる場合もありますので、ご了承ください。
- ・天然素材の場合は、それぞれの素材に個性がでますので仕上がりが異なります。
- ・お客様のご都合による交換、返品は受け付けておりませんので、ご了承ください。

■屋外家具についての特記事項

□設置の注意事項

- ・風が強い日や強い場所では転倒、飛散する場合がありますのでご注意ください。
- ・マンションの高層階のベランダやルーフバルコニーなどに置く場合は固定するか風が強いときは移動させてください。
- ・付属にクッションがあるものは撥水加工が施されている生地をご使用でも、屋外で雨ざらしの状態が続くと徐々に劣化する場合があるのでご使用时以外は取り込んで保管してください。
- ・耐久性につきましては使用環境により異なり耐久年数を表記することは差し控えております。
- ・屋外家具は屋外に強い素材を使用しておりますが、使用環境によって腐食、色褪せが生じます。特に塩害の強い海沿いや照り返しの強いルーフバルコニー等ですと劣化が早くなります。

■パラソルについての特記事項

□注意事項

- ・パラソルは悪天候のための物ではなく日除け用です。強風や雷雨、豪雨や雪の時にはパラソルを閉じてパラソルベースから取り外し移動させてください。また夜間やパラソルを常に確認出来ない時には閉じて台座から取り外し移動させてください。パラソルベースは水平な場所で安定させてご使用ください。
- ・パラソルを移動させる際は、パラソルベースから取り外し必ず大人2名以上で移動させて下さい。パラソルを開閉する際は、必ず大人2名以上で行って下さい。
- ・中央から下がっている紐は、あくまでもピンを抜き差しする際の固定補助用です。開閉用ではありません。
- ・中央から下がっている紐を引っ張ったりパラソルの骨の先を持って開閉しないで下さい。破損の原因となります。

株式会社アスプルンド

〒108-0073 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル5F

TEL: 03-3769-0637

Fax: 03-5444-6733

E-Mail: contract@asplund.co.jp

URL: www.asplund.co.jp